

2020年11月27日

原料費調整制度に基づく2021年1月検針分のガス料金について

(東京地区等)

東京ガス株式会社
広報部

東京ガス株式会社は、「原料費調整制度」に基づき、2021年1月検針分の単位料金を、2020年12月検針分と比べ、1m³ (45MJ)につき2.32円(消費税込)下方に調整いたします。

今回の調整は、2020年8月～2020年10月の平均原料価格に基づくものです。

これにより、1ヵ月に30m³のガスをお使いになる標準家庭で2020年12月検針分と比較して、70円(消費税込)ガス料金が下がります。

2021年1月検針分に適用するガス料金については、当社ホームページ等であらかじめお知らせいたします。

1. 一般契約料金

各月のご使用量に応じてA～Fの各料金が適用されます。

1ヵ月のご使用量	(消費税込)					
	料金表A 0～20m ³	料金表B 21～80m ³	料金表C 81～200m ³	料金表D 201～500m ³	料金表E 501～800m ³	料金表F 801m ³ ～
基本料金 (円/月)	759.00	1,056.00	1,232.00	1,892.00	6,292.00	12,452.00
調整単位料金 (円/m ³)	122.94	108.09	105.89	102.59	93.79	86.09
(参考) 12月 調整単位料金	125.26	110.41	108.21	104.91	96.11	88.41

2. 標準家庭における影響

1ヵ月のご使用量 30m ³ (45MJ/m ³)	(消費税込)		
	2020年 12月	2021年 1月	増減
適用料金(円/月)	4,368	4,298	▲ 70

- 標準家庭ガス料金は、ご家庭1件の1ヵ月あたりの平均使用量(2012年度～2016年度の5ヵ年平均)に基づき算定しています。
- 口座振替割引をご契約している場合の標準家庭ガス料金は、上記適用料金から55円(消費税込)を抜いた金額となります。

3. 原料価格の変動

(円/t)

	2020年7月～2020年9月 の平均 (12月検針分)	2020年8月～2020年10月 の平均 (1月検針分)	対前期 差額
平均原料価格(a)	34,730	32,080	▲ 2,650
LNG	34,360	31,500	▲ 2,860
LPG	39,480	40,660	1,180
基準平均原料価格(b)	57,250		
差額(a-b)	▲ 22,500	▲ 25,100	▲ 2,600

- ・ LNG価格、LPG価格はともに貿易統計値。
- ・ 平均原料価格と基準平均原料価格との差額(a-b)は100円未満切捨て。

4. 単位料金調整額の算定方法

<原料価格の変動による単位料金調整額の算定>

■ 平均原料価格の算定

$$\begin{aligned} & \text{LNG平均原料価格(貿易統計値)} && \boxed{31,500} \times 0.9479 \\ & + \text{LPG平均原料価格(貿易統計値)} && \boxed{40,660} \times 0.0546 \end{aligned}$$

$\boxed{32,078.88}$

↓(10円未満四捨五入)

$\boxed{32,080}$ 円/t

■ 原料価格変動額の算定

$$\boxed{32,080} \text{ 円/t} - \boxed{57,250} \text{ 円/t} = \boxed{\blacktriangle 25,170} \text{ 円/t}$$

↓(100円未満切捨て)

$\boxed{\blacktriangle 25,100}$ 円/t

■ 単位料金調整額(m³あたり調整額)の算定

$$\begin{aligned} \text{単位料金調整額} &= \boxed{\blacktriangle 25,100} \text{ 円} && /100 \text{円} \times 0.0891^{*1} \\ &= \boxed{\blacktriangle 22.37} \text{ 円}^{*2} \end{aligned}$$

*1 変動額100円につき単位料金を0.0891(0.081×1.1)円調整します。

*2 調整額がプラスの時は少数点第3位以下を切り捨て、マイナスの時は少数点第3位以下を切り上げます。

<標準家庭における影響>

(消費税込)

1ヵ月のご使用量 30m ³ (45MJ/m ³)	2020年 12月	2021年 1月	増減
適用料金(円/月)	4,368	4,298	▲ 70

・ 標準家庭料金の計算方法

東京地区等

本体料金(税込) = 基本料金(1,056.00円)

$$+ \text{調整単位料金}(\boxed{130.46} \text{円} + \boxed{\blacktriangle 22.37} \text{円}) \times 30 \text{m}^3$$

料金改定時の基準単位料金(税込) ↑

↑ 単位料金調整額(税込)

・ 本体料金は小数点以下切捨て

[参考]

原料費調整制度の概要

- ・ 為替レートや原油価格の変動等による原料価格の変動に応じて、毎月ガス料金の単位料金（ガス1m³あたりの単価）を調整する制度です。
- ・ 「基準平均原料価格（57,250円/t）」と「平均原料価格（料金適用月の5ヵ月前から3ヵ月前の3ヵ月平均におけるLNG、LPGの輸入価格より算定）」との差額に基づいて、原料価格の変動100円につき、ガス1m³あたり0.0891円（0.081円に1.1（消費税）を乗じた値）単位料金を調整いたします。
- ・ 原料価格の変動については、LNG、LPGとも貿易統計値によります。
- ・ 料金の大幅な上昇を避けるため、「平均原料価格」が91,600円（上限値）を超えた場合には、「平均原料価格」は91,600円としてガス料金の調整を行います。